

○関東・中部地方の地震活動

2023/10/01 00:00 ~ 2023/10/31 24:00

N=6808

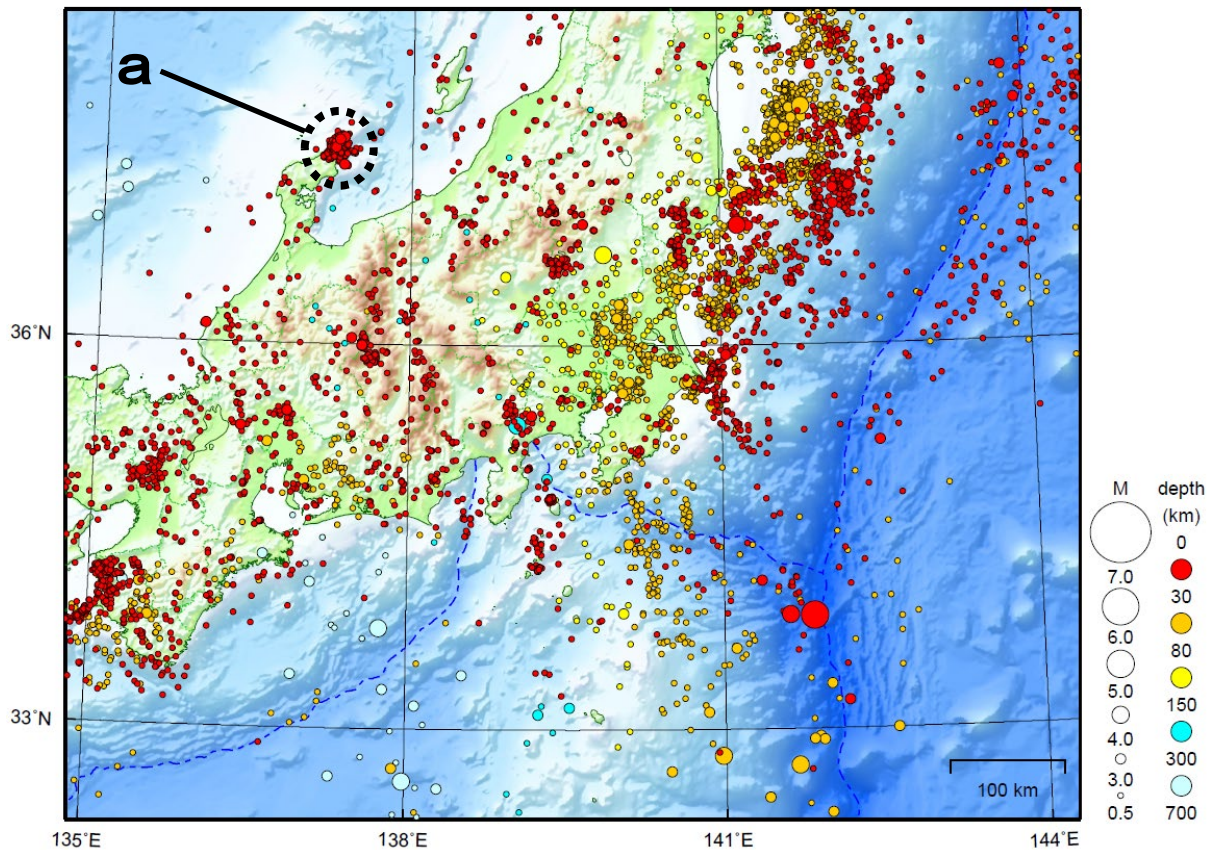


図7 関東・中部地方の震央分布図（2023年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使

[概況]

10月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は59回（9月は58回）であった。10月中の主な活動は次のとおりである。

- a 石川県能登地方では、10月中に震度1以上を観測した地震が10回（震度2：2回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回及び富山湾で発生した地震1回を含む）発生した。このうち最大規模の地震は、25日08時50分に能登半島沖の深さ13kmで発生したM3.6の地震で、石川県珠洲市で震度1を観測した（p. 9参照）。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、2023年10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。5日10時59分には深さ10km（CMT解による）でM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、東京都の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうちに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（p. 48～66参照）。